



校旗のもとに

学校教育目標
仲良く
本気で
最後までがんばる子

勝瀬小学校 三つの心「チャレンジする心 がまんする心 豊かな心」

SDGsも…学校行事も…学習・生活も…

2学期は、いつも心に目標をもって！

校長 藤井文則

記録的な猛暑や夕立の域を超えたゲリラ豪雨、さらには熱中症で小中学生が亡くなるというショッキングなニュースが多い夏休みでしたが、始業式では、子供たちの日に焼けた元気そうな笑顔を見て、ほっとした2学期のスタートでした。私は、夏休みの間に、富士見市主催の「自主防犯活動リーダー講習会」のシンポジウムにパネラーとして参加し、勝瀬小学校の防犯について、PTA 校外生活委員の取組や不審者対応避難訓練等の発表をしてきました。コーディネーターの「日本こどもの安全教育総合研究所理事長・宮田美恵子先生」の講話の中で心に残ったことがあります。それは、地域住民が協力して不審者等から子供を守るために「見守りベンチ」の設置が効果的という話です。道路沿いにベンチやイスを置いて、「見守り中」という札を付けておくだけで、たとえ常時見守っていなくても不審者が活動しづらい環境になるということです。そして、なるほど思ったのが、そのベンチが生花で飾られているとなお効果が高いということでした。住民の手がかかっている…ということが、それだけで不審者等に伝わるのだそうです。勝瀬小でも。毎日のように、かつせ助っ人団の方々には花壇整備をしていただいておりますが、それも防犯に役立っているのですね。「花は子供たちを守る」のです。

かつせ助っ人団は、9月25日(月)には運動会に向けて、草むしりボランティアを募集しているとのこと…本当にありがたいことですね！ぜひ、ご協力をお願いいたします。



2 学期始業式・校長講話要旨

1 学期の終業式には自分から取り組む夏休みにしてくださいとお話をしました。しっかりできましたか？もしうまくできなかったなと反省している人は、2 学期は自分から取り組むチャンスがたくさんあるので頑張ってくださいね。また、1 学期は SDGs についてたくさんお話をしました。地球温暖化について考えてみようという校長先生からのお願いに、多くの方が調べ学習をしてくれました。自分から調べたり、考えたりすることはとても大切なことです。夏休みは大きな台風が来たり、突然びっくりするくらいの大雨が降ったりしました。それも地球温暖化が関係しているのかもしれないですね。さて、地球温暖化が心配だといって、何もしないで世界は変わらないですよ。地球温暖化を少しでも食い止めようとするなら、目標を立てて実行をしなければいけませんね。どんなに大きな目標でも最初の一步は小さな目標を立てて実行することから始まります。いよいよ 2 学期が始まります。2 学期は運動会や勝瀬っ子まつりなど多くの行事があります。運動会も勝瀬っ子まつりも 1 年生から 6 年生まで協力して取り組みます。運動会ではきっと多くの方が「優勝したい」と思っているのではないのでしょうか。優勝したいと思っているだけでは、ダメですよ。自分の大きな目標があるとしたら、小さな目標を必ず自分で立ててくださいね。毎日の練習の中でも、目標を自分で立てられる人は、自分で自分を成長させることのできる人です。行事だけでなく、毎日の学習や生活でも、小さな目標を自分で立ててやり遂げるようにしましょう。そのためには、チャレンジする心とがまんする心が大切です。忘れないでくださいね。小さくてもいいんです。たくさんの目標を達成して豊かな心を大きく大きく成長させる 2 学期にしましょう。

「好きこそものの上手なれ」という言葉があるように、「好きになる事」は学習・スポーツ・その他何でも??自分で自分を伸ばすために最も大切なファクターです。そのプロセスはいくつかあるのですが、「達成感を得る」ということも重要です。大きな目標(目的)だけだと、具体的な実践につながりづらいのですが、小さな目標(スモールステップ)の達成を繰り返すこと(習慣化)で行動の質がどんどん向上します。そうなれば、言われなくても自分から取り組む姿勢が身につく、「勉強しなさい」「練習しなさい」と言わなければならないストレスもなくなり、親子の関係もより良い関係になっていくのです。時間はかかります。しかし、子供に生きるための地力をつけてあげる事、人生を楽しく生きていくヒントを与えてあげることが大切なのだと私は思います。

